

-----1月14日-----

2020年

※ 今週のアウトルック (1/14~1/17)

先週は、先々週までと一転して、円安ドル高の流れとなりました。
心配されていたイラン情勢は悪化することなく、小康状態を保っています。
このまま悪化する事なく終息するという見方が、市場関係者の間では強いのかもかもしれません。
今週は、先週末に発表された米国雇用統計の悪化も問題視されることもなく、
リスクオンの巻き返しに乗り遅れまいとする勢力の方が強いようです。

先週のドル円は、既にイラン情勢の緊迫状態から解放されたかのように大きく反転しました。
2円近くの上昇となっています。

今週は、米国雇用統計の悪化が、ある程度調整を誘うかのようでしたが、
リスクオンへの巻き返しが強く、今週月曜日には、この所のレジスタンスである109.7円
をブレイクしています。
このまま、イラン情勢などに大きな反歌がなければ、110円を超えて上昇する可能性が
強いかもしれません。

ドル円の予想レンジは109円から111円です。

先週のユーロ円は、円安への反転から121円台後半まで戻しています。
今週は、月曜日から円安の流れが加速し、122.5円付近のレジスタンスラインまで
到達しています。
このまま何もなければレジスタンスブレイクとなり、上昇トレンドが加速する可能性が、
強いかもしれません。

ユーロ円の予想レンジは120円から124円です。

ポンド円は、リスクオンムードの蚊帳の外感がいささか出ています。
141円から144円付近のレンジからしばらく抜け出せないかもしれません。

ポンド円の予想レンジは140円から146円です。

イラン情勢や米国雇用統計の悪化なども関係なく、為替、NYダウ共に、
リスクオンムードが拡大しています。
ただ、イラン情勢の変化や要人発言には十分注意する必要があります。

* 免責事項 *

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。